

ボランティアの皆さん、ありがとう!!

11月20日(金)に、日頃お世話になっている地域の方々やボランティアの皆さんにお出でいただき、児童が感謝の気持ちを伝える「学校支援ボランティアさん感謝の会」を行いました。当日は、10の団体やボランティアグループの代表の方、併せて24名の方が参加してくださいました。

感謝の会の運営は、集会委員の児童が中心となって行いました。はじめの言葉に続いて、集会委員が各団体やボランティアグループ等の活動と、参加されている方々のご紹介をしました。児童は、日頃お世話になっているボランティアさんの顔と名前をつなげてとらえることができるようになったと思います。これから、ボランティアの皆さんにお会いしたときに、もっともっとあいさつができるようにしていきたいと思います。

次に、参加されているボランティアの皆さんに、日頃の活動への感謝の気持ちを綴った感謝状を読み上げてお渡ししました。そして、児童手作りのメダルを首にかけてあげました。

それから、6年生全員による宮澤賢治の「雨ニモマケズ」の群読です。日頃お世話になっていることへの感謝の気持ちが伝わるように、昼休みや朝の時間等を使いながら練習してきました。体育館に響きわたる素晴らしい群読となりました。続けて、全員で「すてきな人達」を全校生で歌いました。大きな声で、しっかりと歌いました。体育館に響き渡った群読や歌に乗り、児童の感謝の気持ちもボランティアの皆さんに届いたように思います。

感謝の会の後、ボランティアの皆さんを各教室にご案内し、一緒に給食を楽しみました。ボランティアさんと会食し、お話することができ、今まで以上に児童はボランティアさんへの親しみをもったように思います。

ボランティアの皆さん、ありがとうございました。また、この日お出でいただいた方々の他にも、たくさんの方々が児童の安全や教育活動の充実のためにご協力してくださっています。改めて、学校が多くの地域の方々に支えられていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き、ご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



4年生・高齢者の皆さんとの交流!!

11月13日(金)の業間の時間から3校時にかけて、地域の高齢者の皆さんと親睦を深め、高齢者の皆さんの立場をより理解しようと交流会をもちました。

児童全員で陽南コミュニティセンターにお迎えに行き、体育館の席まで案内しました。交流会は、代表児童の言葉で始まり、続いて児童全員で歌をプレゼントしました。それから、4年生86名が24グループに分かれて高齢者の方々と交流しました。自己紹介をしてから、グループごとに自分たちが計画した、すごろくや福笑い、おはじき、だるま落とし、お手玉、輪投げなどをしてともに楽しみました。会場にいる誰もが、気持ちがほんわかするような交流会となりました。



3年生・昔の生活を体験しました!!

11月27日(金)の1校時から3校時にかけて、3年生が社会科の学習で昔の食生活の体験をしました。当日は、南門入ってすぐの緑園教室で、おじいちゃんやおばあちゃんが子どものころに使われていたかまどと羽釜(はがま)を使ってのご飯炊き、七輪を使ってのもち焼きをグループに分かれて行いました。

かまどの火をおこしたり、七輪の炭に火をつけたりことから始まりましたが、新聞紙を丸めて入れることも、その上に小枝や松ぼっくりなど火のつきやすいものに乗せていくことも児童にとっては初めての経験でした。マッチで火をつけることも初めての児童が多かったようでした。

炭火の火力が思ったより強いので七輪と網の間に角材を置くなどの工夫をしながらもちを焼きました。のりと醤油をつけたもちに児童は大満足でした。羽釜で炊いたおにぎりもとってもおいしくできました。今後、このかまどや七輪など古い道具を使っての、ご飯炊きやもち焼きの体験を振り返りながら、児童に昔の人々の知恵や工夫に気付かせていきます。また、現在の生活と比較することで、昔の生活の大変さにも気付かせていきたいと思っています。保護者や地域協議会など多くの皆様に、ご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。



5年生・たばこの害について考える

11月19日と26日に5年生を対象に、学校薬剤師の野山先生が「たばこの害について考えよう」という授業を行いました。

野山先生は、白衣に真っ白な髪とひげの「タバタバ博士」として登場し、クイズやパワーポイントによる説明を取り入れながら、児童にたばこの害について分かりやすく説明してくださいました。授業を受けた児童は、たばこには250種類もの有害物質が含まれていて、体に悪い影響を与えることを知り、授業を受ける前よりもさらに、たばこを吸わないようにしたいとの思いを強くもちました。



大きなさつまいもがとれました!

11月12日と13日に、5月に苗を植えたさつまいもを学年ごとにほりました。今年は、畑に土を買って入れたこともあり、さつまいもが大きく育っていました。1年生は、学校農園での初めての収穫体験です。スコップでさつまいもの周りの土を取り除いてから、さつまいもをぐらぐら動かして引き抜きました。1年生の頭ほどもある大きなさつまいもは、みんなで力を合わせて抜きました。どの学年も、大きなさつまいもがとれて大喜びでした。とれたさつまいもは、11月30日(低学年)、12月9日(中学年)、10日(高学年)に給食の「さつまいもごはん」で、また12月8日(全学年)に「さつまいものシチュー」で児童に提供されます。6年生の家庭科でも、調理実習の材料として使われます。

自分たちで育て、収穫したさつまいもの味は、きっと格別だと思います。

